

「わが図書館ならではの本！！」

～屋久島町尾之間図書室～

わが国初の世界自然遺産として登録され、世界中の人達が訪れる屋久島には未来に引き継ぐべき豊かな自然はもちろん、島に暮らす人々が築き上げた独自の生活文化があります。

九州最高峰の宮之浦岳をはじめ急峻な山々を望む海沿いに集落が点在する屋久島では、高低差が激しい道が集落間の往来を妨げたため、集落独自の歴史、文化、言葉を築いてきました。

そして、山や海の豊かな恵みを受けて暮らす屋久島の人々の自然に対する畏敬の念は、語り継がれ数多くの民話が生まれています。

「屋久島の民話」は著者が各集落を訪ね、島の人達から採集した話をもとに書かれ、生活の知恵や行事、祭り、おとぎ話、そして伝説のような昔話がたくさん収められています。

人々が永く伝承してきた民話は貴重な財産であり、次の世代に受け継いでもらいたいとの思いから、図書室ではおはなし会のなかで民話の朗読に取り組んでいます。

また、屋久島に魅せられ移住された方が図書室に来られたときには、ぜひ読んでいただきたいとおすすめしている書籍です。



- ◆ 下野 敏見 著 「屋久島の民話」 緑の巻， 紅の巻
- ◆ (株)南方新社 発行
- ◆ 2005 年 11 月 10 日 (緑の巻)
- ◆ 2006 年 6 月 20 日 (紅の巻)